

事業名 CD	0502010202	公共下水道維持管理事業
細分化した事業名	0	
事業担当課室 CD	300300	上下水道課
		整理コード*

〈事務事業の位置づけ〉

第6次長期総合計画での目的体系	大項目	心地よい定住環境のあるまちづくり	
	中項目	快適に暮らすための生活環境の充実	
	小項目	上下水道の整備	
関連する個別計画等	0	根拠条例等	葦崎市下水道条例他
関連する事業	0		

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	都市基盤である下水道施設の点検等を計画的に行ない、異常を速やかに発見し処理する。又、計画的な維持管理を行ない、施設の機能を確保し使用期間の延命を図る。公共汚水柵設置申請者に対して迅速に対応でき水洗化率アップに寄与する。
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	公共下水道施設(汚水管、公共汚水柵、マンホールポンプ、下水道マンホール) 公共下水道使用者
これまでの改善経過	公共汚水柵コンクリート製(φ500)を、塩化ビニール製(φ200)に改善
事業の手段 (どんなやり方/手法)で)	〈実施・運営方法〉 ■市 ■委託 □補助金 □その他() ① マンホール蓋及び下水道管理設個所の陥没補修工事 ② 下水道マンホールポンプの点検及び清掃(年4回点検 年2回清掃) ③ 各戸からの申請による、公共汚水柵の設置 ④ 下水道台帳の整備
事業の成果 (どのような状態にしたいのか) (どのような効果を得るのか)	下水道台帳を作成し、下水道施設の点検・清掃等により適切な維持管理を行うことで、施設の延命を図り、機能を十分発揮できる状態に保ち、終末処理場まで円滑に流下させる能力を確保する。

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		19年度	20年度	21年度
A	事業費 (千円)	31,033	37,136	34,068
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	市債			
	その他	21,345		33,856
	一般財源	9,688	37,136	212
B	担当職員数(非常勤 職員E) (人)		2.23	1.40
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	0	15,407	9,552
D	総事業費(A+C) (千円)	31,033	52,543	43,620
*参考	H21)市民1人当りの事業コスト	1,360 円	H21)市民1人当りの行政サービス費用	579,596 円

注1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。
 注2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、19年度(6,901千円)、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)を使用しています。
 注3)一般財源とは使途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			19年度	20年度	21年度
活動指標	マンホールポンプ点検箇所数	(基)	33	41	43
	汚水樹設置工事件数	(箇所)	28	27	23
	舗装補修箇所等	(箇所)	6	8	3
0	0				
成果指標	公共樹接続率 (算出式数値)	公共樹接続数/公共樹設置数(%) (3,529戸/5,720戸)	55.17	56.78	61.70
	0	0			
	0	0			
効率指標	1m当りの維持管理費 (算出式数値)	事業費/下水道管総延長 (円) (43,620,000円/143,300m)	234	265	304
	0	0			
	0	0			

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当である <input type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない 水質検査及びマンホールポンプ43基の点検を行うことにより快適に過ごすことができる。また公共汚水樹の設置申請に迅速に対応できる。
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input checked="" type="checkbox"/> A 上がっている <input type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない 早急に故障等の対応が図れる。汚水樹の新設により水洗化率の向上に寄与できる。
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない 管路延長が延びることにより、1m当たりの維持管理費は減少し効率的である。

総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化(コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 手段の改善(実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 効率化(結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化(事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 統廃合(他の事業と統合する、または廃止する) <input type="checkbox"/> 現行どおり

改善・改革の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)		
改善・改革案	(1) 中長期的 下水道施設の老朽化が進むため計画的な維持管理を行い適切な機能の確保を図る。	(2) 23年度 定期点検、清掃を実施することにより、異常箇所について早急な対応が図れる維持管理を行う。
	(3) 22年度 定期的に点検を行うことにより異常箇所への早急な対応が図れる。	
	21年度の改善計画	
	21年度の改善結果	

市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること)	下水道法により、下水道管理者が維持管理をおこなうと定められているため、市の管理である。
---	---

課長所見	更なる下水道施設の延命及び維持管理節減のため市民に適切な下水道施設の利用方法(下水道施設に損傷、機能低下を及ぼす物質を流さない)を理解し、協力をしてもらうことが必要である。
------	--